

# 道立青少年教育施設の今後の在り方【概要版】

## 1 はじめに

- 道立青少年教育施設が、社会の変化や教育の現状に対応し、その役割を十分果たすためには、青少年教育の推進拠点としての機能を再構築するとともに、道内の多様な担い手を支援するための教育機能を一層発揮していくことが重要

## 2 道立青少年教育施設の変遷

### ■設置当初

#### 青年の家 (S37～) [深川]

- 団体宿泊訓練を通じた健全な青少年の育成

#### 少年自然の家 (S48～) [洞爺・砂川・常呂・厚岸・森・足寄]

- 自然環境の中で行う集団宿泊訓練、野外活動その他の活動を通じた少年の健全な育成

H26.3  
洞爺廃止

### ■役割・機能の見直し

#### 青少年体験活動支援施設ネイパル (H26～) [6施設]

- 青少年の集団宿泊訓練、自然体験活動、その他の体験活動を支援することによる青少年の健全育成
- 道民の生涯学習活動の促進

うち1施設(深川)に、体験活動プログラムを開発する機能を付加

## 3 道立青少年教育施設の現状

### (1) 設置目的と事業

設置目的

青少年の集団宿泊活動、自然体験活動その他の体験活動を支援することにより青少年の健全な育成を図るとともに、道民の生涯学習活動を促進する。

- 各施設が企画・開催する主催事業、学校や団体等が宿泊や日帰りで施設を利用する受入事業等を推進し、多様な体験活動の機会を提供

### (2) 管理運営の状況

- H18年(2006年)からH19年(2007年)にかけ、指定管理者制度を導入
- 指定管理者に対して専門的・技術的な指導助言や業務の協力を行う道教委職員(社会教育主事)を配置

### (3) 施設の現況

- 研修室、体育館、宿泊室(定員200名)、野外活動設備等を備える

### (4) 利用状況

- 利用者数:H29年度(2017年度)195,143人→R5年度(2023年度)123,263人

## 4 道立青少年教育施設を取り巻く状況

### (1) 青少年の状況

- 人口減少に伴う、児童生徒数、学校数の減少
- コロナ禍を経た地域行事等の停滞、価値観や生活様式の変化、子どものリアルな体験の不足
- 家庭状況による体験の格差についての指摘

### (2) 道内の青少年教育施設等の状況

- 国立施設(2施設:大雪、日高)との連携
- 市町村立施設その他の公立施設が抱える利用者の減少や人材育成、施設の老朽化等の課題

### (3) 民間事業者やNPOの状況

- 子どもの健全育成に携わるNPOや体験活動の普及に貢献する企業の増加

## 5 道立青少年教育施設の成果と課題

	成 果	課 題
(1) 機 能	○ 学校や団体等の受入事業を通して多様な体験活動プログラムを提供	○ 地域の様々な関係機関・団体等と連携し、人材育成を強化する必要 ○ 地域の実態やニーズを把握し、必要な支援策を検証する機能が必要
(2) 管理運営	○ 指定管理者による柔軟な施設運営により利用者の満足度向上など一定の成果	○ 管理の目標の適切な設定、役割・機能を発揮するための職員体制 ○ 利用者数の回復、安定した施設運営のための運営経費の確保
(3) 施設・設備	○ ネイパル砂川の長寿命化改修工事を実施	○ 施設の教育機能を十分に発揮するための計画的な修繕・改修が必要 ○ 人口減少予測等も踏まえ、将来的な施設配置の検討も必要

## 6 道立青少年教育施設の今後の方向性

本道の次代を担う人材の育成を目指して、各施設の周辺環境や教育資源等の特性に応じた「施設バリュー(価値)」を最大限に活かし、青少年はもとより、道民に開かれた体験活動・学習活動の場とするとともに、教育課題の解決に資する実践・検証や調査研究とその成果の発信、地域の教育活動の多様な担い手の資質向上及びネットワーク構築など、体験活動を核とした青少年教育の推進拠点としての機能を強化

ネイパルの今後の在り方(目指す姿)

本道の青少年教育の推進拠点

多様な世代の学習活動の支援

多様な担い手の育成  
地域での活躍を促進

【1施設】  
本道の青少年教育のセンター機能を有する拠点とするとともに、他の5施設の支援機能を統括

【5施設】  
これまでの役割を継続するとともに、推進拠点の取組を活用・普及

青少年教育に係る調査・研究

青少年の体験活動の支援

モデルプログラム開発・検証

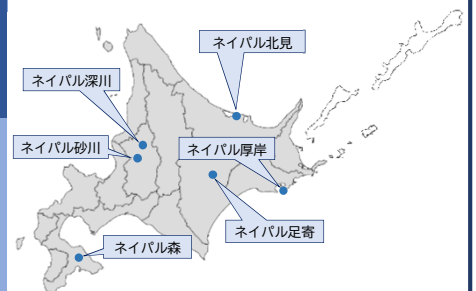
モデルプログラム普及・地域プログラム開発

指導人材の育成と研修

道民の生涯学習活動の促進

関係者のネットワーク支援

地域や関係団体との連携・協働



<今後の主な取組・検討内容>

- 次期指定管理期間での試行・検証
- 指定管理者による社会教育士の配置促進
- 利用ニーズに対応した利用料金体系見直し
- 幅広い年代の活動に適した施設改修の検討
- 長期的視野に立った最適な施設配置の検討